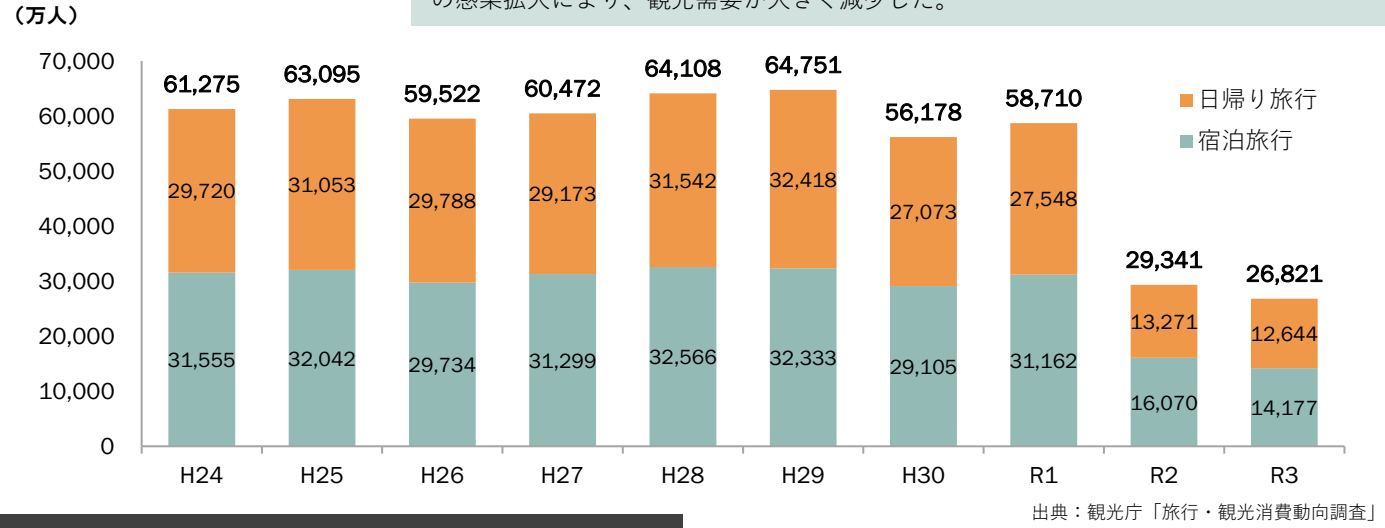


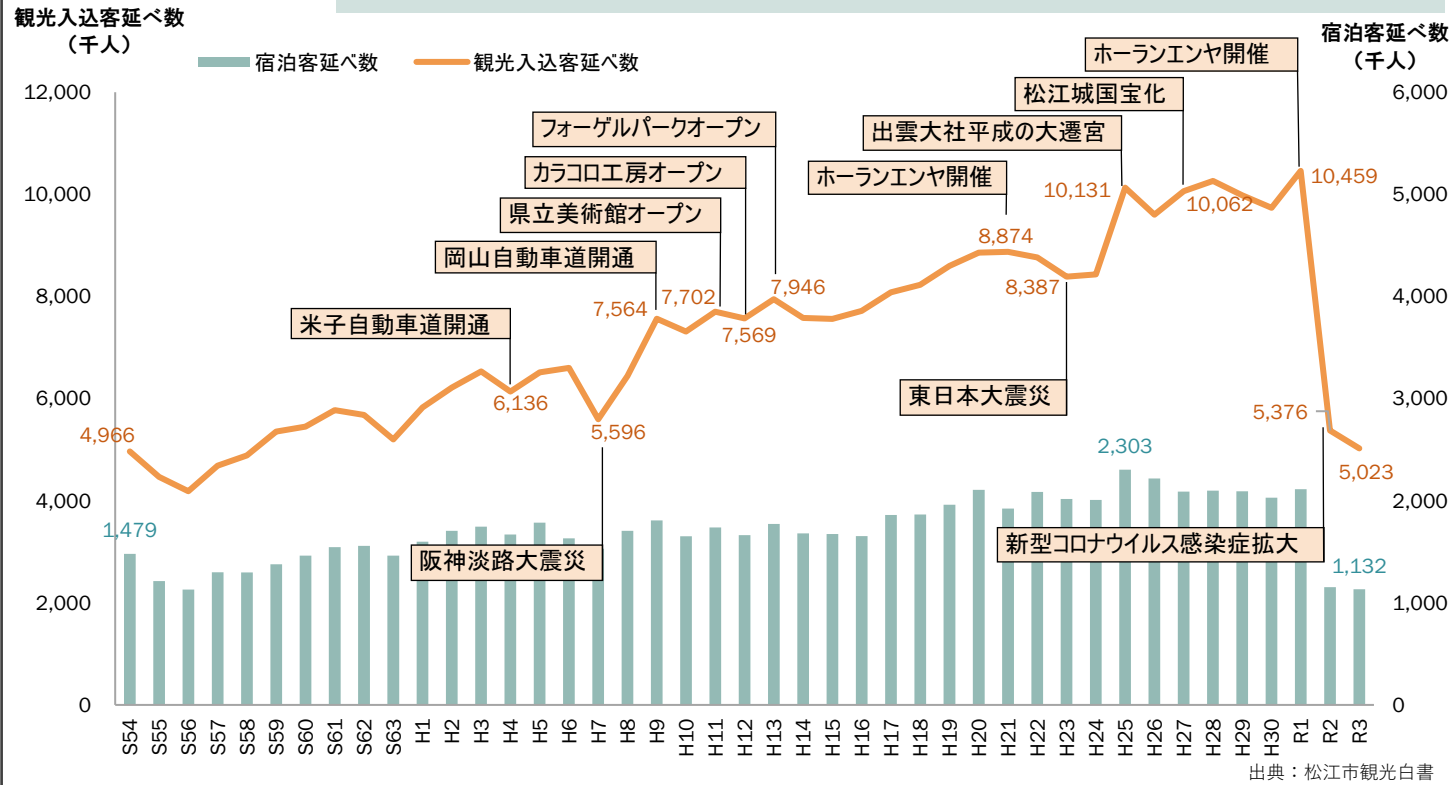
国内旅行の動向

国内旅行観光客数の推移

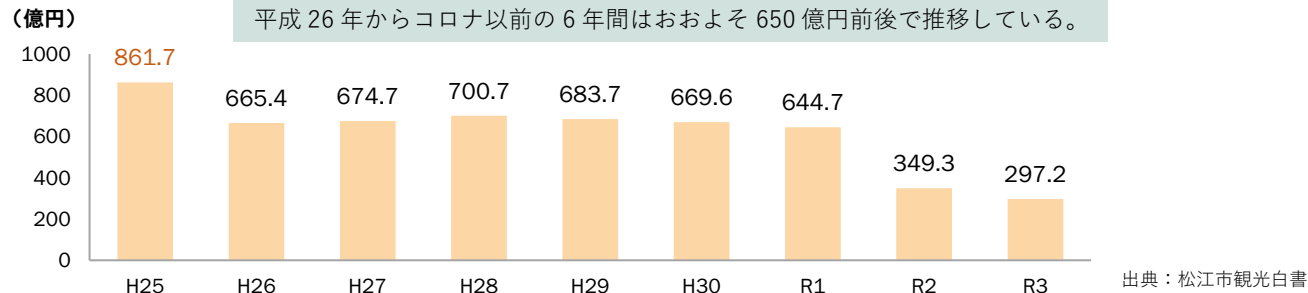


松江市の状況

入込客延べ数の推移

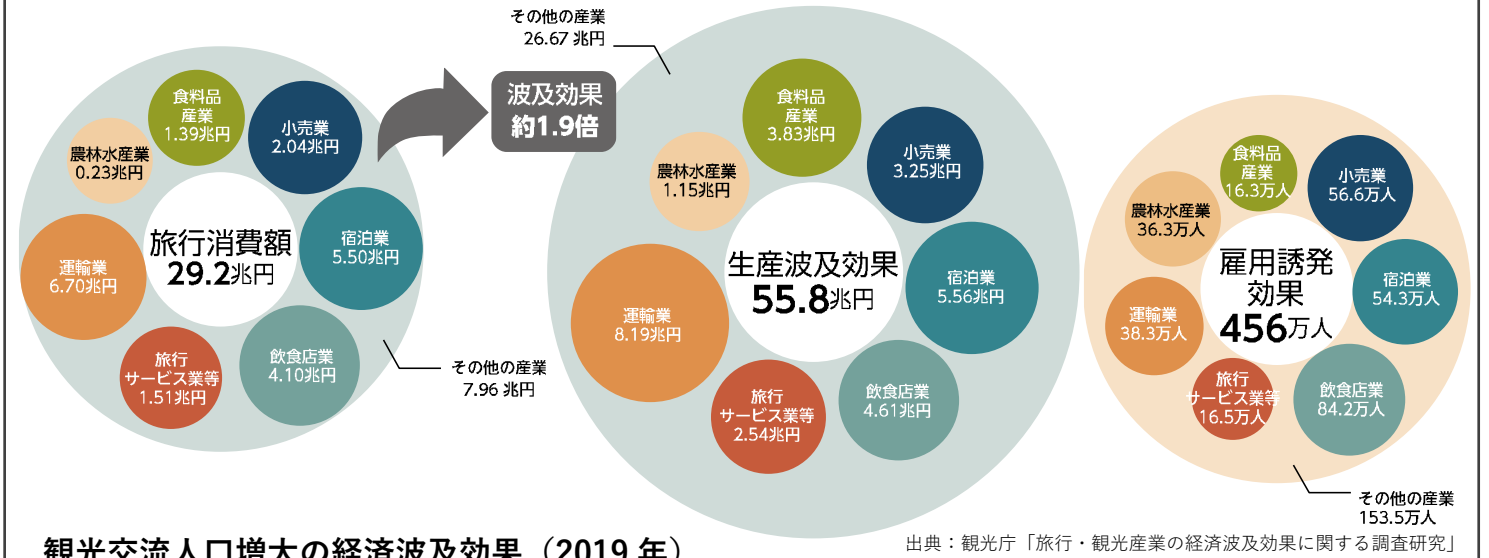


観光消費額の推移

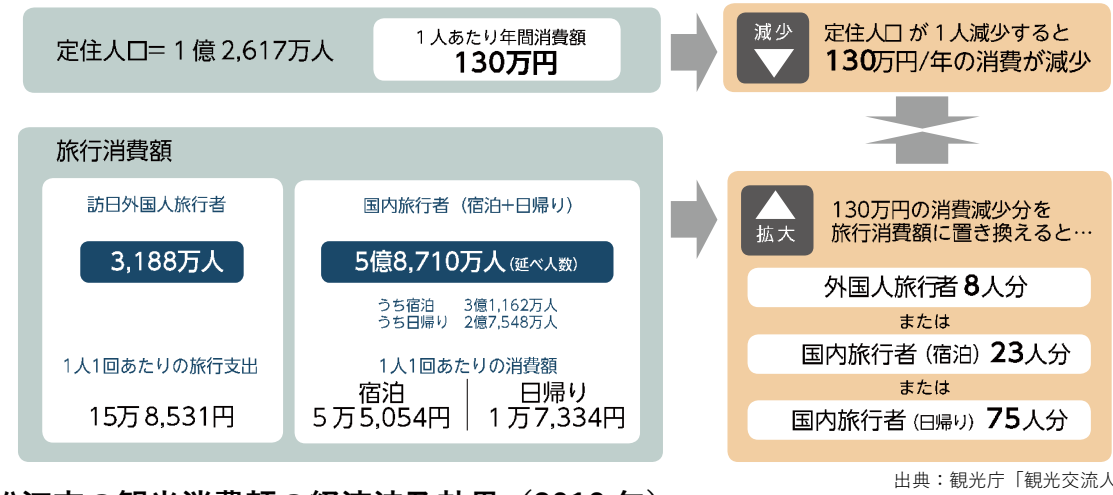


観光の役割及び重要性 地域経済に与える効果

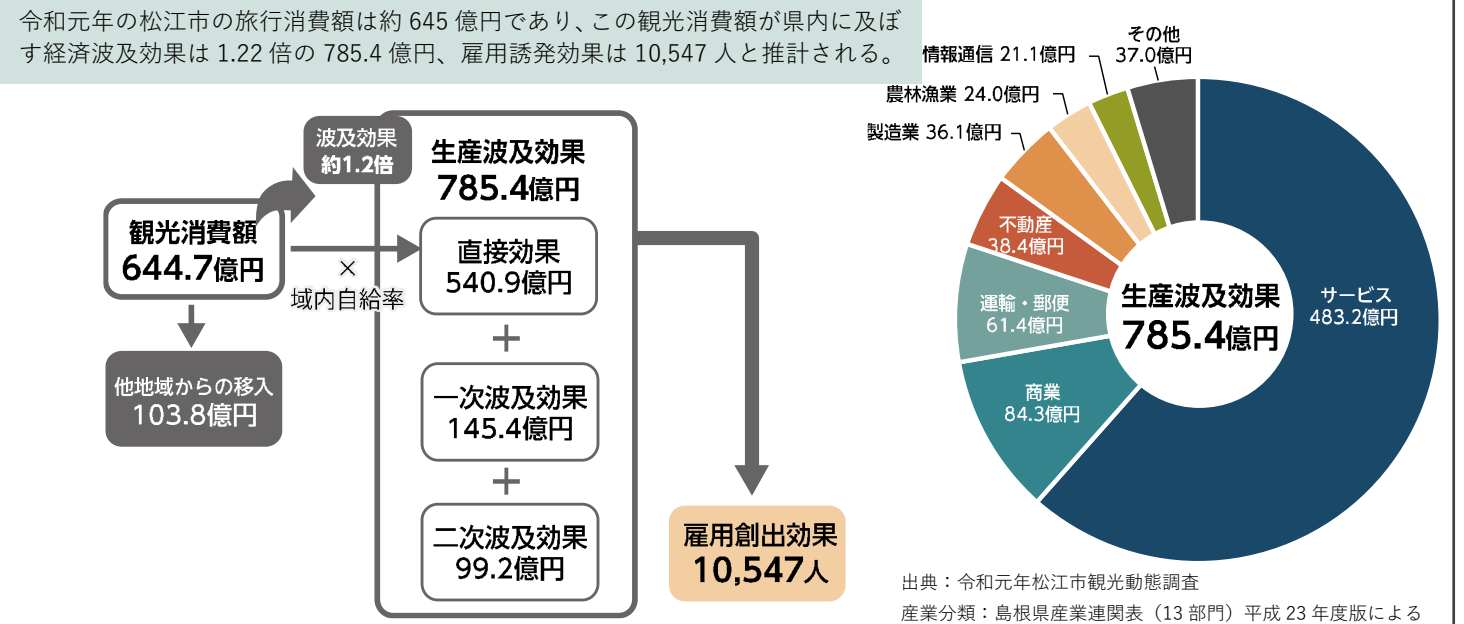
旅行消費額の波及効果 (2019 年)



観光交流人口増大の経済波及効果 (2019 年)



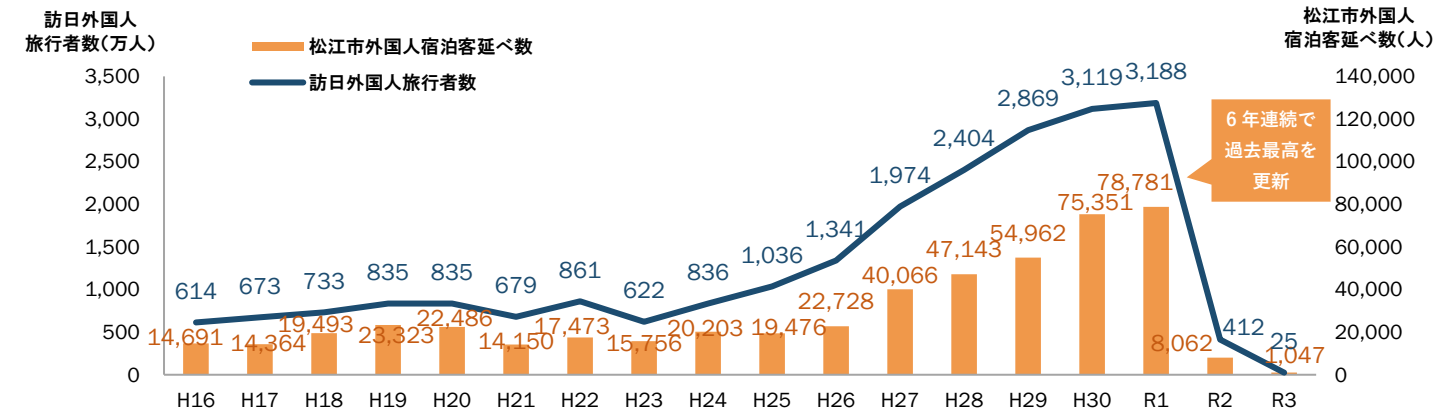
松江市の観光消費額の経済波及効果 (2019 年)



訪日旅行の動向

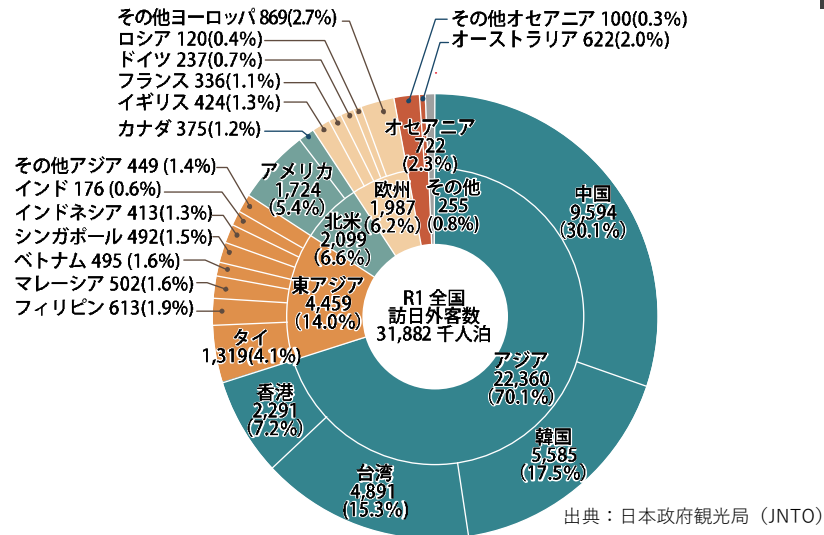
訪日外国人旅行者数、松江市外国人宿泊客延べ数の推移

訪日外国人旅行者数はコロナ以前の海外旅行者数は堅調に増加しており、松江市でも同様の傾向がみられる。



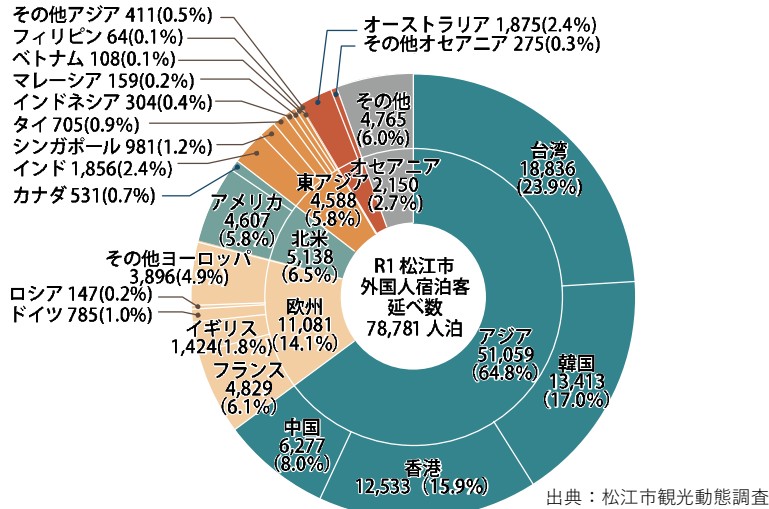
訪日外客数割合

アジアからが70.1%、次いで東アジアからが14.1%であった。



松江市の国籍別外国人宿泊客延べ数割合

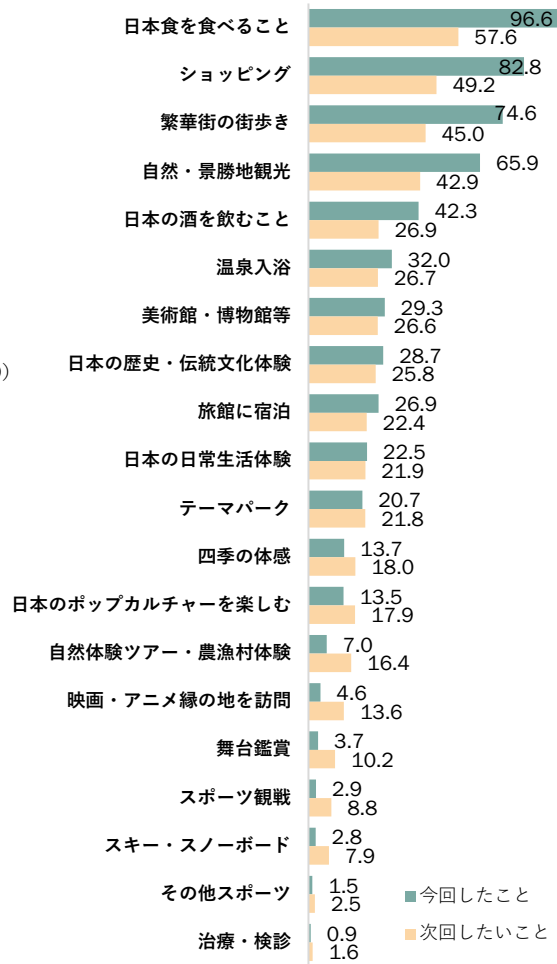
アジアからが64.8%、次いで欧州からが14.1%であった。



外国人観光客のニーズ

今回の訪日でしたこと、次回したいこと

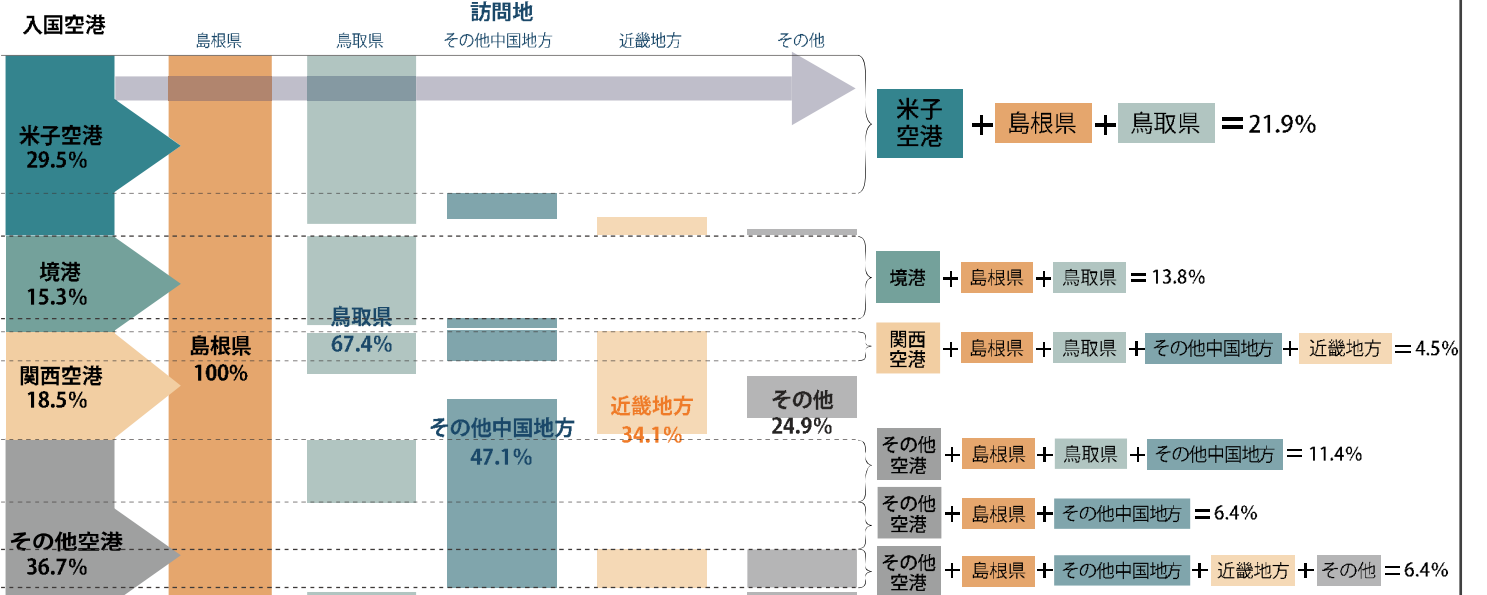
日本食を食べることが最も高い。



周遊動向

外国人観光客の来訪パターン

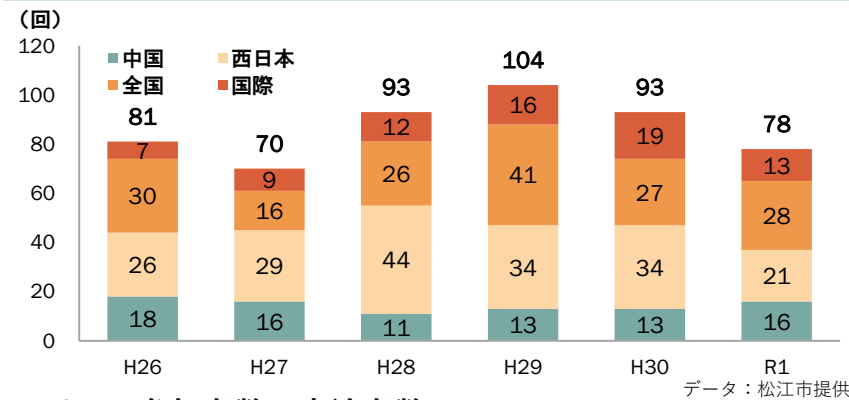
島根県と鳥取県を合わせて周遊するパターンが67.4%を占めている。その内、米子空港から入国し、島根県と鳥取県を周遊する割合は21.9%である。



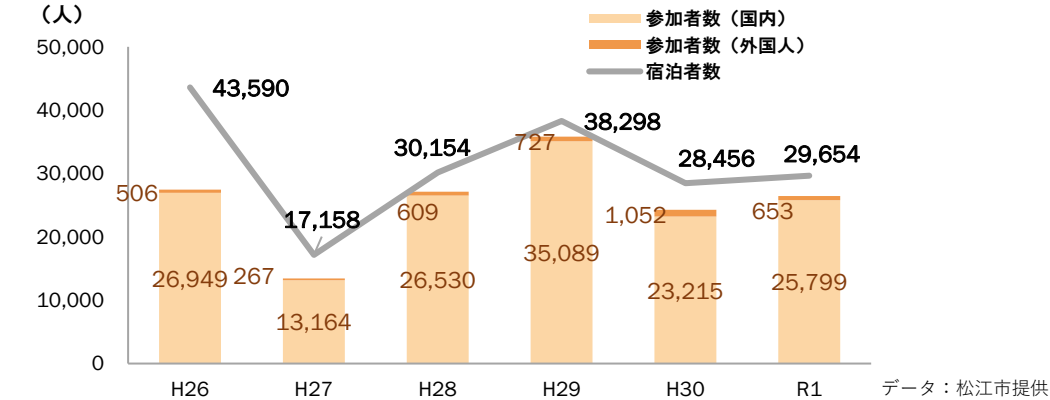
松江市でのMICEの開催状況

MICEの開催回数

西日本や全国規模での開催の割合が多くなっている。

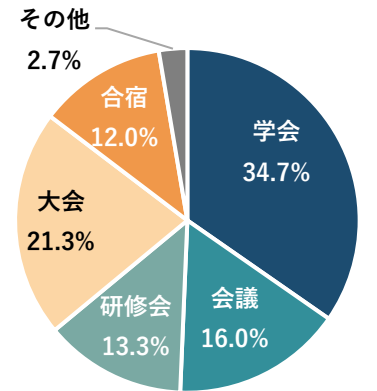


MICEの参加者数、宿泊者数



区分別割合

学会が最も多く34.7%、次いで大会が21.3%となっている。



観光都市「松江」の魅力

松江市は松江城を中心とした伝統的な街並、由緒ある神社、美肌効果を誇る温泉、宍道湖や海に囲まれた豊かな自然など魅力ある観光資源を豊富に有している。

神秘的な出雲神話の舞台と縁結びの聖地



美保神社

諸手船神社

八重垣神社 鏡の池

玉作湯神社 願い石

古き良き街並や伝統文化



松江城

琴行列



塩見縄手



美保関 青石畳通り

美肌県しまねを代表する豊かな源泉



玉造温泉

松江しんじ湖温泉



玉造温泉街



お湯かけ地蔵

水に囲まれた美しい景色と地形



宍道湖の夕日

加賀の潜戸



しじみ漁



中海

山陰を巡る観光のゲートウェイ

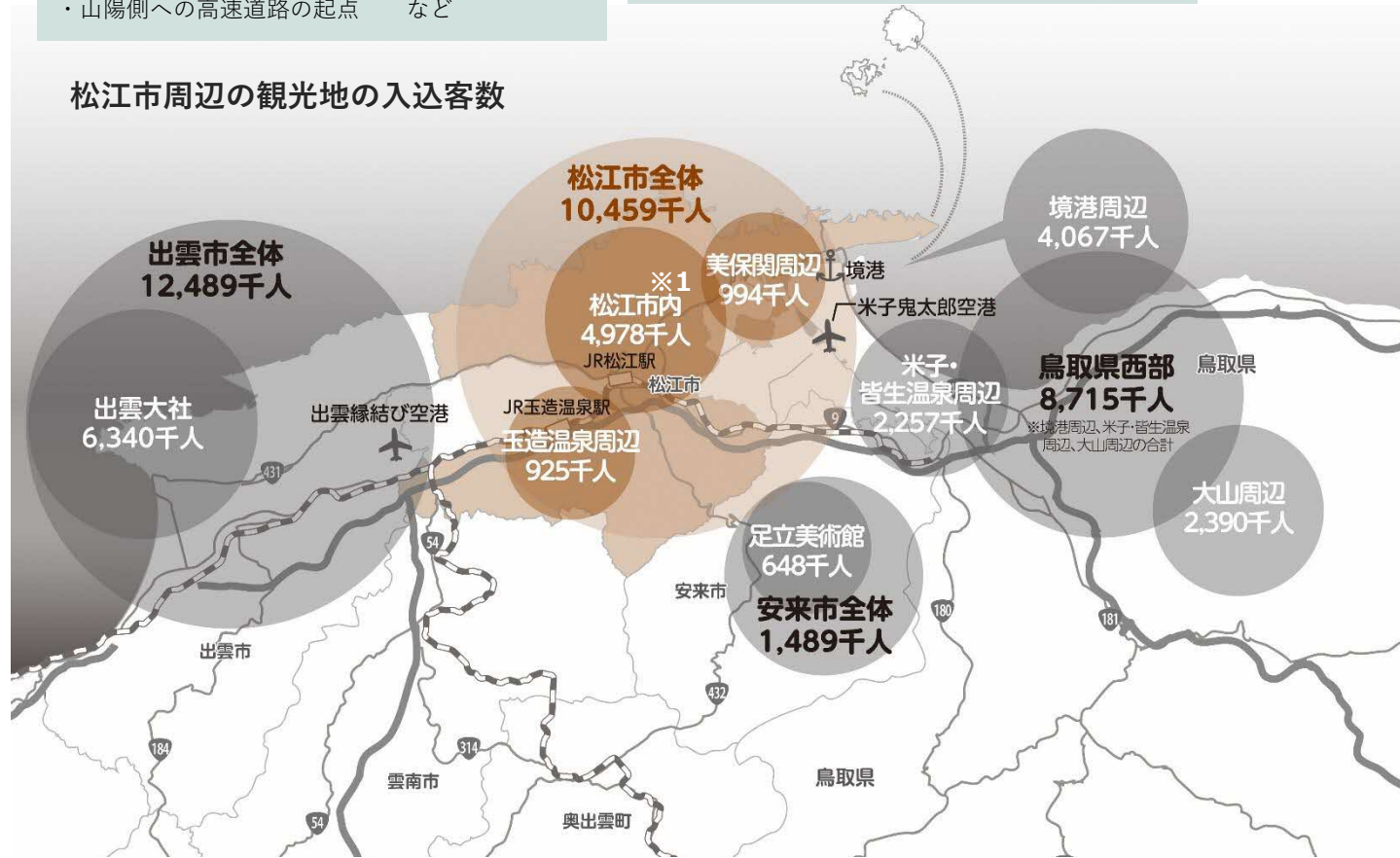
陸路空路ともにアクセスが良い

- ・出雲縁結び空港及び米子鬼太郎空港
- ・特急列車が停車する松江駅、玉造温泉駅
- ・山陽側への高速道路の起点 など

周辺に集客力のある観光地が数多く立地

- ・出雲大社、足立美術館
- ・水木しげるロード、大山 など

松江市周辺の観光地の入込客数

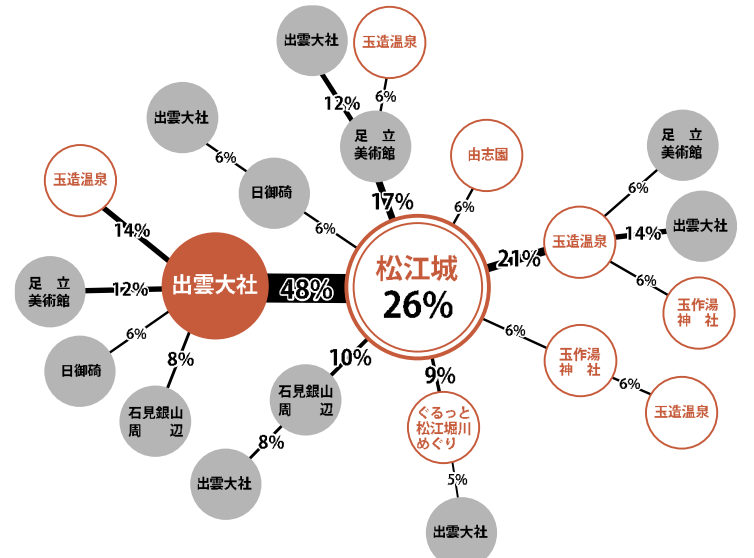


出典：松江市「令和元年観光動態調査」、鳥取県「令和元年観光客入込動態調査結果」

鳥取県の入込客延べ数は、実人数に県内県外別平均訪問地点数を乗じて算出 ※1 「松江市内」は、旧八束郡を除く行政区：「国土数値情報（行政区データ）」（国土交通省）を加工、水域：「国土数値情報（湖沼データ）」（国土交通省）を加工、鉄道：「国土数値情報（鉄道データ）」（国土交通省）を加工、道路：「地理院地図 vector」（国土交通省）を加工

松江市訪問者の周遊動向

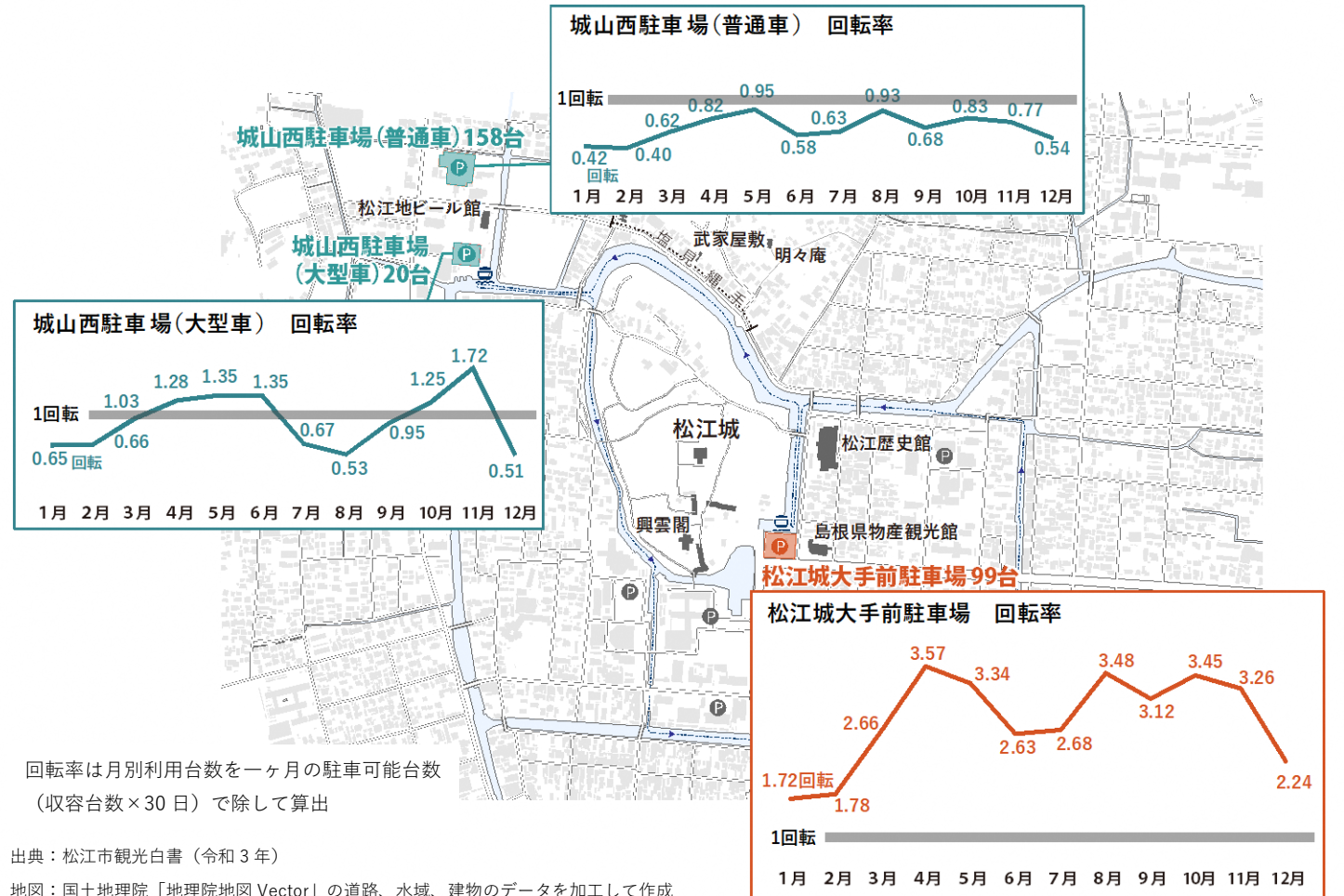
松江城の訪問者の半数近くが出雲大社に合わせて来訪している半面、松江城から市内の観光地への周遊割合は少ない。



出典：令和3年松江市観光動態調査

松江城周辺の駐車場の利用状況

月別利用台数と1か月の駐車可能台数から算出した回転率を見ると、松江城大手前駐車場は回転率が1回転を超えているが、城山西駐車場（普通車）は一年を通して1回転未満となっている。



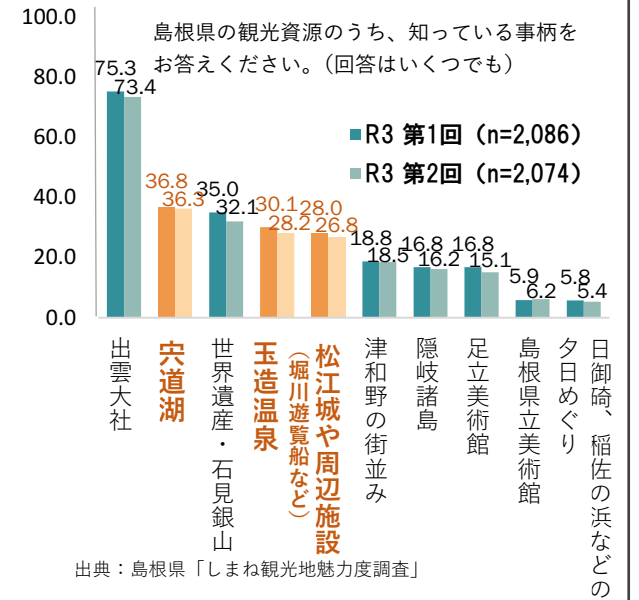
回転率は月別利用台数を一ヶ月の駐車可能台数（収容台数×30日）で除して算出

出典：松江市観光白書（令和3年）

地図：国土地理院「地理院地図 Vector」の道路、水域、建物のデータを加工して作成

松江の観光地の認知度

県内の観光資源のなかでも「宍道湖」「玉造温泉」「松江城や周辺施設（堀川遊覧船など）」が主要な観光資源として知られているが認知度は40%に満たない。

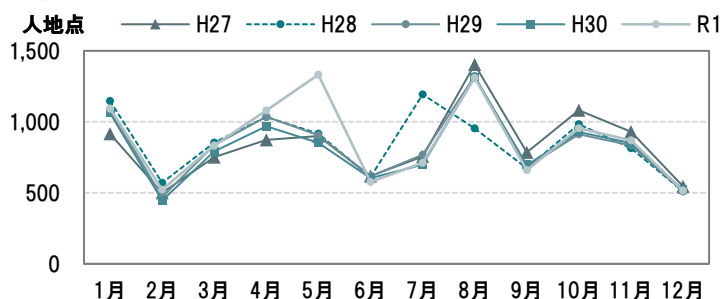


出典：島根県「しまね観光地魅力度調査」

平成 27 年～令和 1 年松江市観光動態調査より

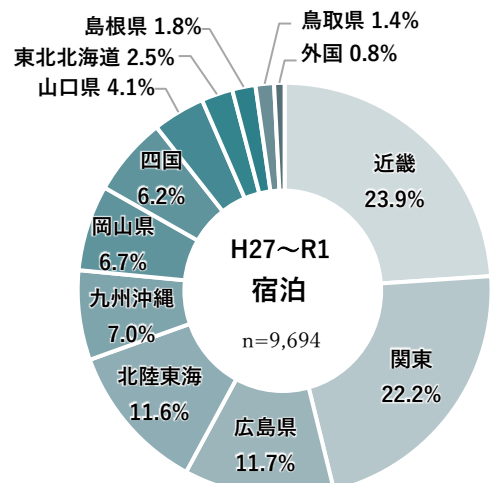
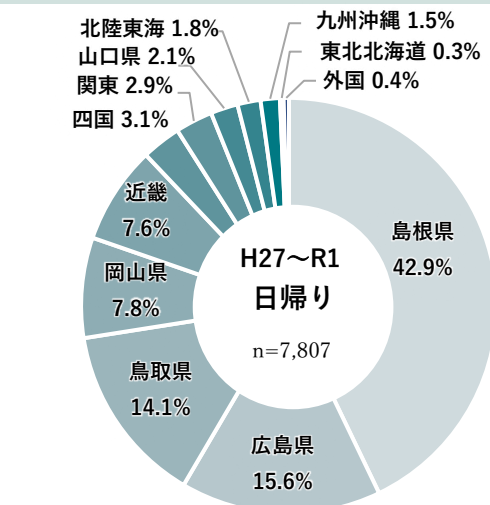
	件数	サンプル数
H27	3,660	16,591 サンプル
H28	3,539	14,983 サンプル
H29	3,529	15,364 サンプル
H30	3,367	13,325 サンプル
R1	3,406	14,191 サンプル
合計	17,501	74,454 サンプル

① 月別観光入込客延べ数



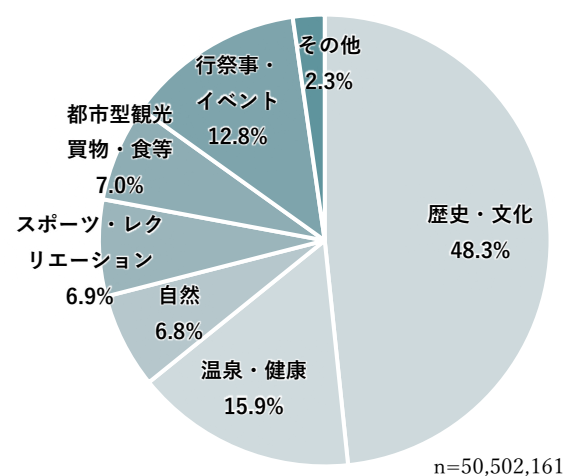
③ 発地（住所）

日帰りでは「島根県」、宿泊では「関東」「近畿」の割合が大きかった。



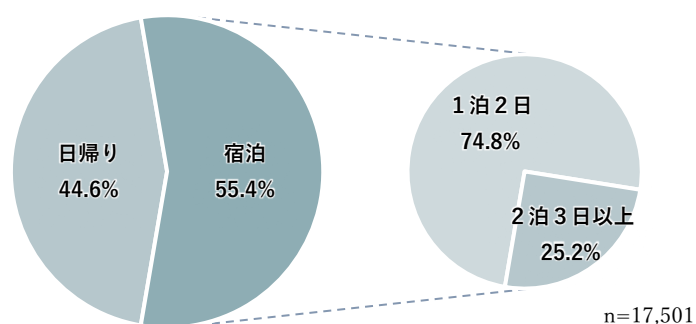
② 行動目的別観光入込客延べ数

「歴史・文化」が最も多く、約 5 割を占めていた。



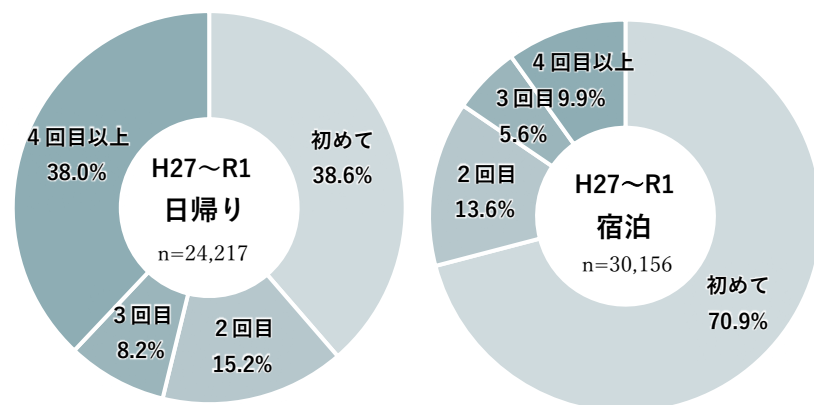
④ 旅行日程

「宿泊」が 55.4%であり、そのうち 74.8%が「1泊2日」であった。



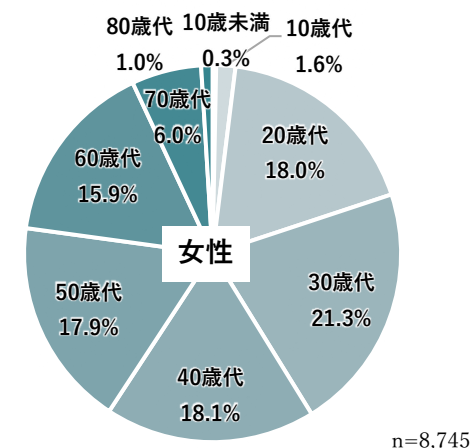
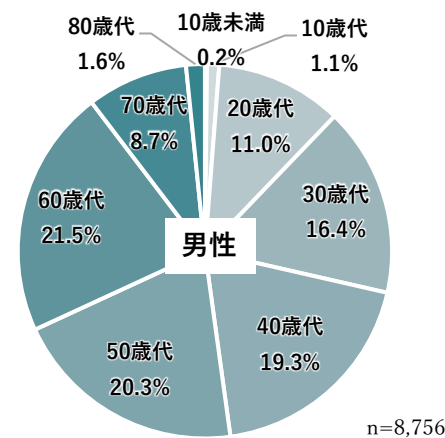
⑤ 訪問回数（観光施設）

日帰りでは「初めて」と「4回目以上」の割合が多くそれぞれ約 4 割を占めていた。宿泊では「初めて」が 7 割以上を占めていた。



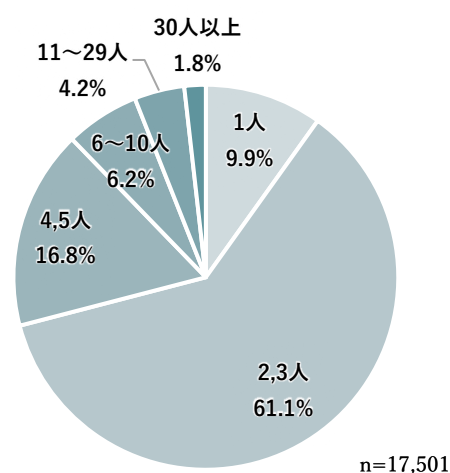
⑥ 年齢

男性は「30 歳代」～「60 歳代」、女性は「20 歳代」～「60 歳代」と幅広い年齢層で割合が大きかった。



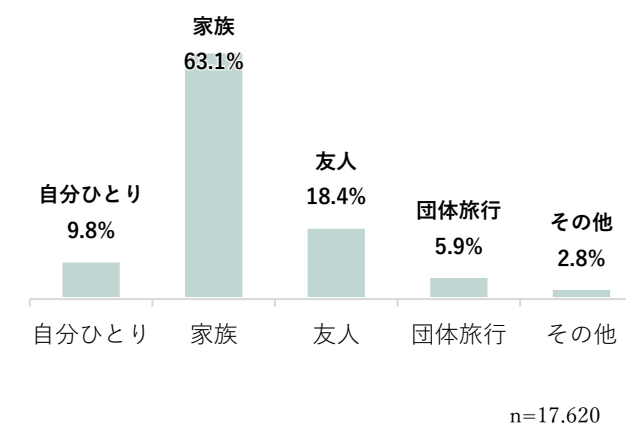
⑦ 人数構成

「2, 3 人」が最も多く 6 割以上を占めていた。



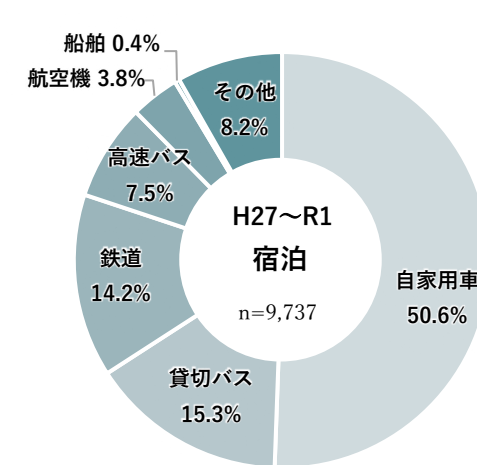
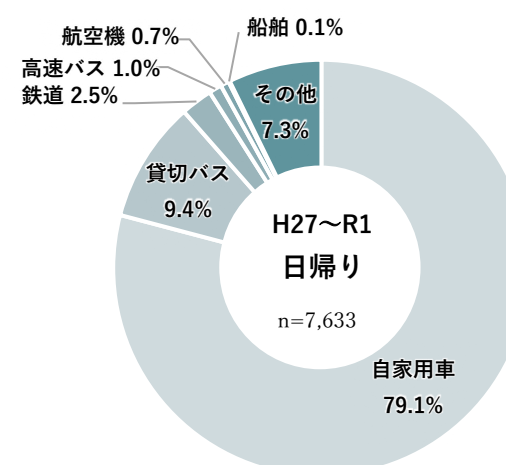
⑧ メンバー構成

「家族」が最も多く、6 割以上を占めていた。



⑨ 交通手段

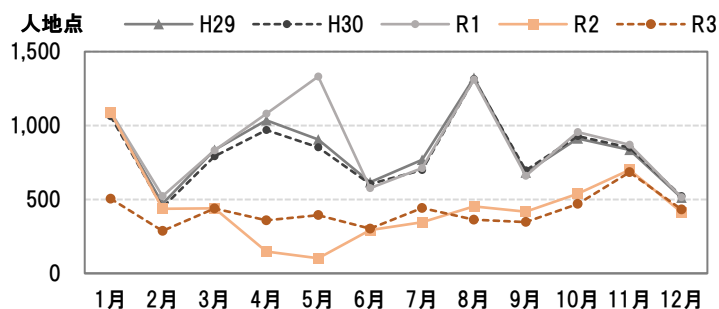
日帰りでは「自家用車」が最も多く約 8 割、宿泊では「自家用車」が約 5 割、次いで「貸切バス」が約 2 割を占めていた。



令和 2 年～令和 3 年松江市観光動態調査より

	件数	サンプル数
R2	2,087 件	6,484 サンプル
R3	2,886 件	7,787 サンプル
合計	4,973 件	14,271 サンプル

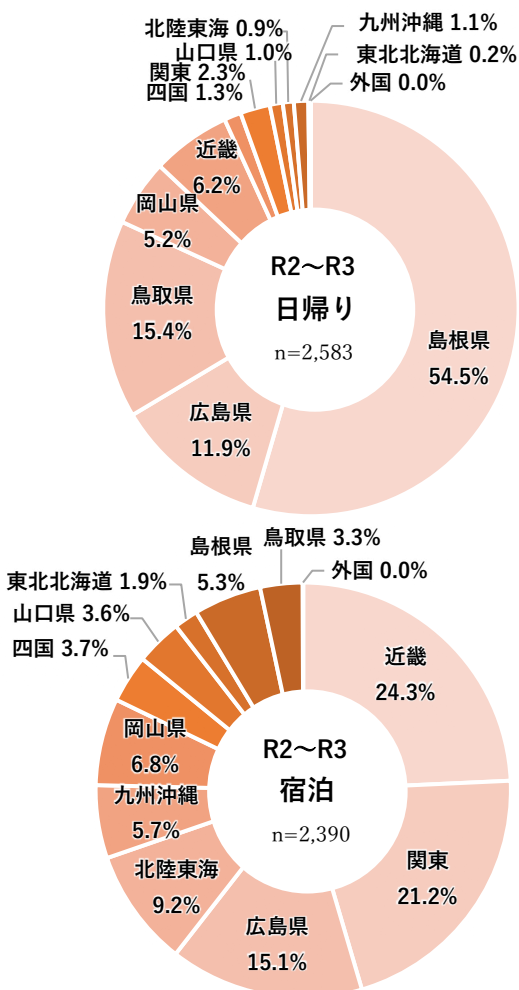
① 月別別観光入込客延べ数



③ 発地（住所）

日帰りでは「島根県」が半数以上を占めており、宿泊では「関東」「近畿」の割合が大きかった。

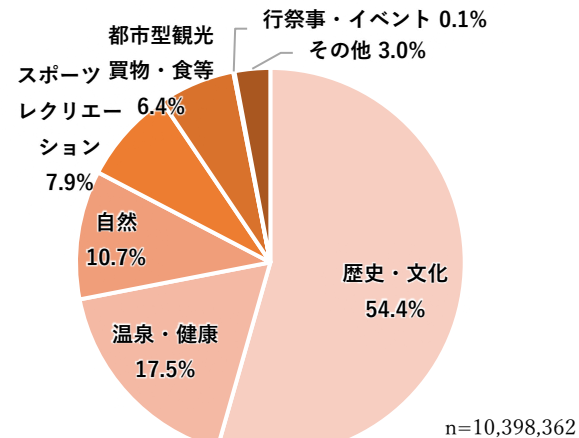
コロナ禍前との比較 日帰りでは「島根県」の割合が、宿泊では中国地方の割合が増加した。



② 行動目的別観光入込客延べ数

「歴史・文化」が最も多く、5 割以上を占めていた。

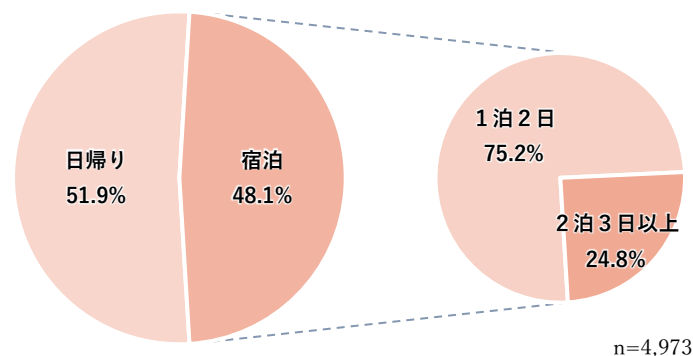
コロナ禍前との比較 行事が多く中止されたことにより、「行祭事・イベント」の割合が大幅に減少し、0.1%であった。



④ 旅行日程

「日帰り」と「宿泊」がおおよそ半分ずつの割合であった。

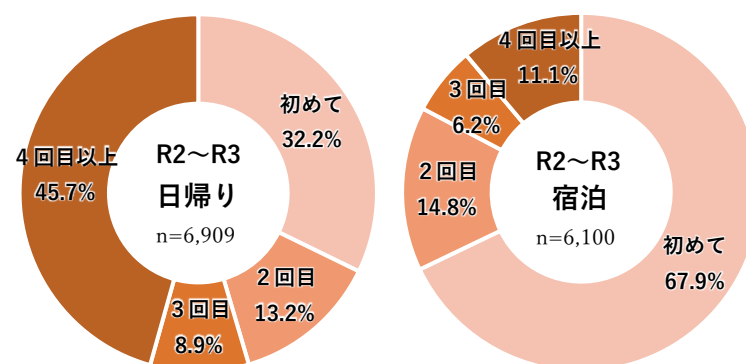
コロナ禍前との比較 「日帰り」の割合が増加し、「宿泊」の割合を上回った。



⑤ 訪問回数（観光施設）

日帰りでは「4 回目以上」が 5 割近くを占めており、宿泊では「初めて」の割合が 7 割近くを占めていた。

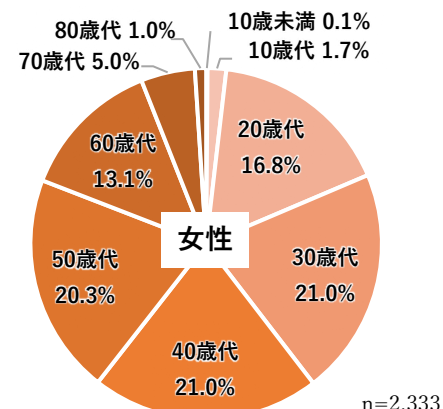
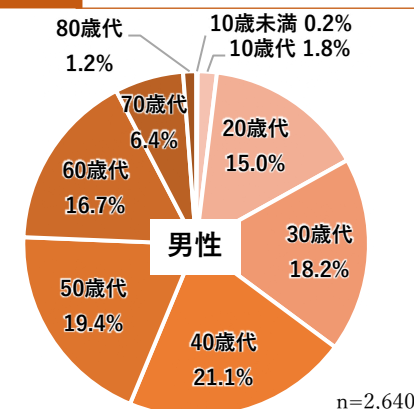
コロナ禍前との比較 日帰り宿泊ともに、「初めて」の割合が減少し、「4 回目以上」のリピーターの割合が増加した。



⑥ 年齢

男性、女性ともに 20 歳代～60 歳代と幅広い年齢層で割合が大きかった。

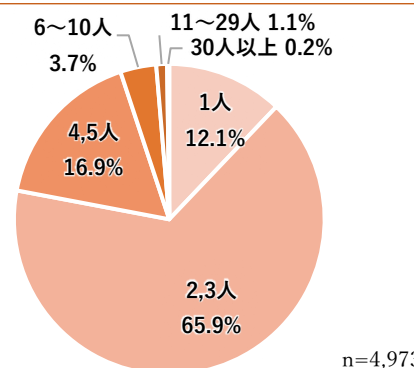
コロナ前との比較 割合に大きな変化は見られなかった。



⑦ 人数構成

5 人以下での旅行が約 9 割を占めていた。「2, 3 人」が最も多く約 7 割を占めていた。

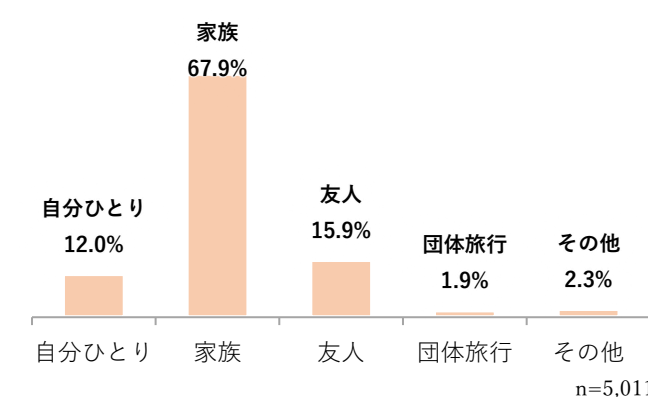
コロナ禍前との比較 3 人以下の少人数での旅行が増加し、11 人以上の団体旅行は大幅に減少した。



⑧ メンバー構成

「家族」が最も多く、約 7 割を占めていた。

コロナ禍前との比較 「家族」や「自分ひとり」の割合が増加し、「友人」や「団体旅行」の割合が減少した。



⑨ 交通手段

日帰り、宿泊ともに自家用車の割合が最も多く、日帰りは約 9 割、宿泊は約 6 割を占めていた。

コロナ禍前との比較 日帰り宿泊ともに「自家用車」の割合が増加し、日帰りでは「貸切バス」、宿泊では「高速バス」の割合が減少した。

